

8月の野菜

タケノコハクサイ



宮農課 ● 岩本 悠太

特徴

草姿は立性で、生育初期の暑さや寒さに強く、各種病害にも強いため育てやすい野菜です。施肥、その他の管理は普通のハクサイと同じです。

栽培のポイント

①品質の良いものを収穫するためには畑をよく耕し、元肥を十分に施し肥切れさせないよ

一〇メモ

収穫したものを新聞紙でくるんでおくと長く持ちます。また、厳寒期に入る前の12月上旬ころ頭部を軽く結束し、寒害を防ぎ

うにしましょう。とくに結球開始までは追肥を入念に行いましょう。

②草丈が高いため風当たりの強いところでは、防風対策をしっかりと行いましょう。

ます。長く利用するためには、屋根下などに保存すると良いでしょう。

Q & A

Q: 畑に植えたのですが、育ちざかりに腐って枯れてしまいました。なぜですか？

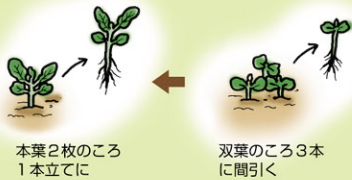
A: ...これはハクサイの大敵である、軟腐病によるものです。茎の地ぎわなどから腐りはじめ、葉が倒れるようになります。

対策方法

- ①連作、早まきを避ける
- ②畑は高畝にして排水を良くする
- ③一株でも発病したら早めに除去して伝染を防ぐ
- ④害虫に食害されると、そこから病原菌が進入するので害虫防除を徹底する

り、玉の内部まで腐敗がおよび、悪臭を放つようになります。

1 苗づくり

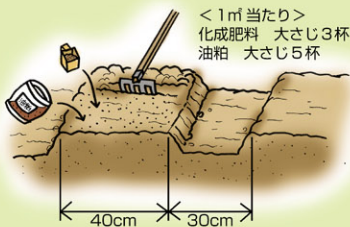


1穴に3〜4粒まく2mmくらいの厚さに覆土する128穴のセルトレイが便利用土は育苗専用のものを使う



2 畑の準備・元肥入れ

種まきの半月前に畑を深く耕しておく



植えつけ日が近づいたら、ベッド全面に元肥を施し、15〜18cmくらいによく耕し込む

4 間引き(株定め)



植えつけ10〜12日後に育ちのよい株を残し1本立てにする間引いた後で株元がぐらつかないように、少し土を寄せる

3 植えつけ

植穴を掘って1か所2株ずつ植えつける植えつけた後、株のまわりに十分灌水する



5 追肥

第3回 中心部の葉が立ち上がり結球し始めるころ



<1株当たり> 化成肥料 大さじ1杯 株間のところどころにばらまく

第1回 本葉5〜6枚のころ

<1株当たり> 化成肥料 大さじ1/2杯



通路に肥料をまいて鍬で土を畝に上げる2回目は1回目の反対側に

6 害虫防除



苗床をべた掛け資材や寒冷紗で覆って害虫の飛来を防ぐか、または殺虫剤を散布する。本畑に植えつけた後も同じ

7 収穫・保存



頭部を押さえ、硬く締まった感じになったころが収穫の最適期 自家用ならそれ以前でもよい



項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
種まき								8	9			
植えつけ									10	11		
収穫期	1										11	